

zetton inc.

2024年1月期第2四半期 決算説明資料

株式会社ゼットン (3057)

当資料は株式会社ゼットンが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複製及び無断転写はご遠慮下さい。
当資料は当社が当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。
また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了承下さい。



1

会社紹介

2

2024年1月期第2四半期 決算概要

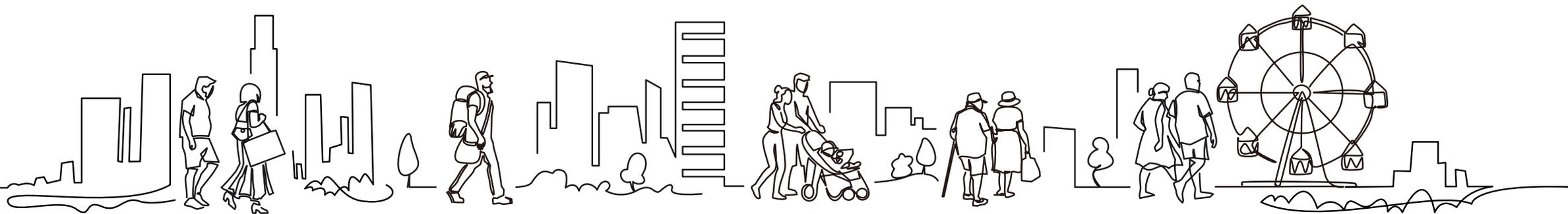
3

2024年1月期第2四半期 セグメント概況

4

2024年1月期 業績予想

会社紹介





店づくりは、人づくり。
店づくりは、街づくり。

お店に人が集い、それが波紋のように広がり
やがて街をも変えるエネルギーとなる。
そんな街づくりが、私たちの使命です。



会社概要



- 会社名 株式会社ゼットン
- 代表者 代表取締役社長 鈴木 伸典
- 設立 1995年10月26日
- 上場市場 名古屋証券取引所 ネクスト市場（証券コード：3057）
- 本店所在地 愛知県名古屋市東区徳川町1001番地
- 本社所在地 東京都渋谷区神南1丁目20番5号VORT渋谷briller9階
- 従業員数 連結451名（2023年1月末現在）※パート除く
- 資本金 90百万円（2023年7月末現在）
- 店舗数 直営：72店舗 FC：2店舗（2023年7月末現在）

事業内容



多種多様なコンテンツを活かした飲食店等の経営を中心に国内・海外の商業タウンや公園の再生（＝街づくり）を行うオペレーションエンジニアリング企業

商業タウン再生事業

地域ドミナント出店によるその土地の人々や街、
ライフスタイルを徹底的に知り尽くした街づくり

A

国内 商業タウン再生事業

B

海外 商業タウン再生事業

C

公園再生事業

Park-PFI制度等を活用した、
この公園の近くで住みたいと
思うような場づくり

コンテンツ一覧



— アロハテーブル



"Aloha Table"ブランドを中心に派生ブランドを含めたハワイアンレストランを運営

— ダイニング



新しい業態開発やリブランディングに挑戦し、多様なブランドを展開

— アウトドア



都市公園や商業施設の屋上などで、飲食の場の特化することなく、街のエリアを総合的に開発

— ブライダル



伝統的な挙式・披露宴会場で、ウェディングプラン及びラグジュアリーな空間と食を提供

— インターナショナル



ハワイ・オアフ島でハワイ独自発信のブランドにこだわった、レストラン&バー事業

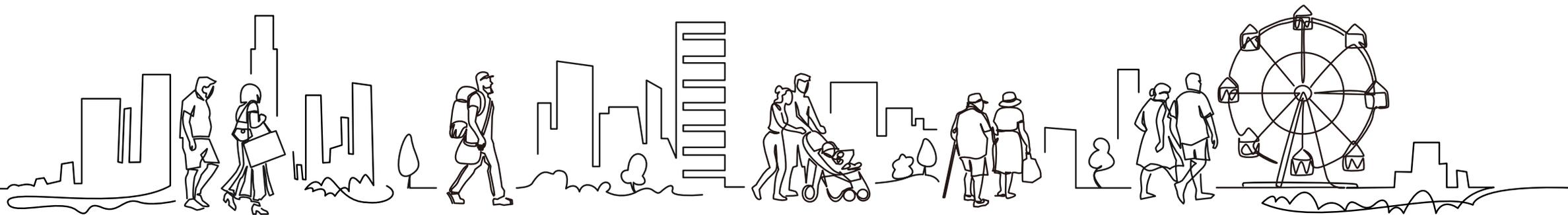
2024年1月期第2四半期

決算概要

※2023年1月期より決算期を2月末日から1月31日に変更しております。（海外子会社ZETTON,INC.は変更なく12月）

国内 2023年2月～2023年7月（前期：2022年3月～2022年8月）※1か月差異が発生

海外 2023年1月～2023年6月（前期：2022年1月～2022年6月）





コロナ5類移行後、市況回復を背景にコロナ前の2020年2月期の水準まで回復。

2024年1月期
第2四半期
連結業績

売上高

6,210百万円

2023/1期2Q比 133%
2020/2期2Q比 109%

営業利益

208百万円

前期 499百万円

四半期純利益

101百万円

前期 590百万円

トピックス

売上高

■ 国内：4,700百万円（前期比123%） ■ 海外：1,510百万円（前期比177%）

－ 全事業好調に推移

ビジネス利用や団体利用の増加、客単価の上昇を背景に好調に推移。
公園再生事業の「THE WHARF HOUSE 山下公園」が4月に開業、今後更なる拡張へ。

営業利益

■ 国内：187百万円（前期△70百万円） ■ 海外：20百万円（前期569百万円）

－ 事業面において前期比で大きく伸長、年度計画に対しても順調に推移。

－ 海外においては、前期はRRF（米国政府レストラン活性化基金）受給分615百万円を会計に反映していた。

※ 2023年1月期より決算期を2月末日から1月31日に変更しております。

連結損益計算書



市況の回復及び店舗別収益向上施策の効果により、業績は回復。

| (単位：百万円) | 2020年2月期2Q 実績 | 2023年1月期2Q 実績 | 2024年1月期2Q 実績 | 増減額 |
|---------------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| 売上高 | 5,703 | 4,687 | 6,210 | +1,523 |
| 売上原価 | 1,482 | 1,046 | 1,699 | |
| 売上総利益 | 4,221 | 3,640 | 4,510 | |
| 販売費及び一般管理費 | 3,728 | 3,140 | 4,302 | |
| 営業利益 | 492 | 499 | 208 | △ 290 |
| 営業外収益 | 8 | 76 | 4 | |
| 営業外費用 | 11 | 4 | 5 | |
| 経常利益 | 489 | 571 | 207 | △ 364 |
| 特別利益 | 0 | — | — | |
| 特別損失 | 1 | — | 21 | |
| 税引前利益 | 489 | 571 | 186 | |
| 四半期純利益 | 329 | 590 | 101 | △ 489 |

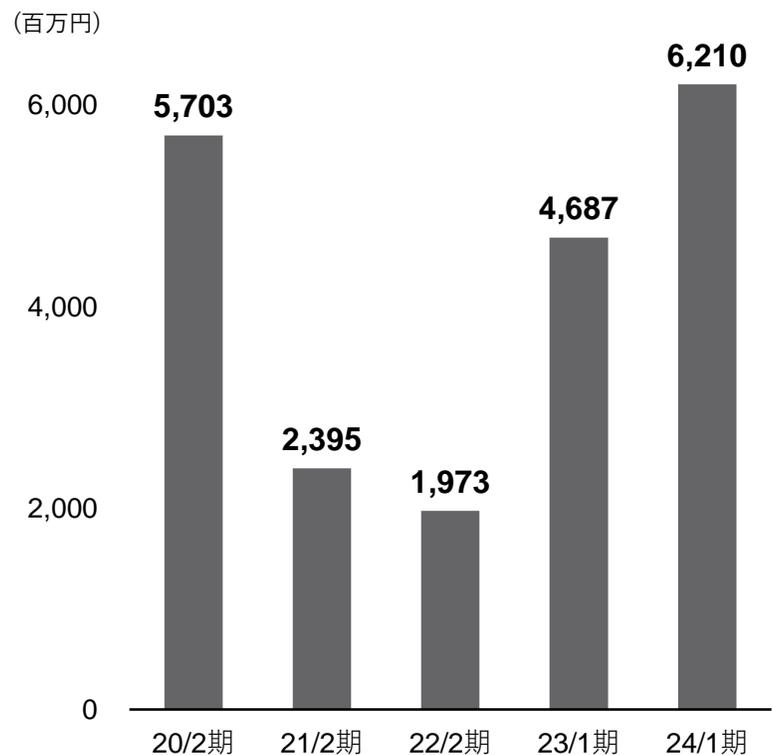
※ 2023年1月期より決算期を2月末日から1月31日に変更しております。

連結業績推移（売上高・営業利益）

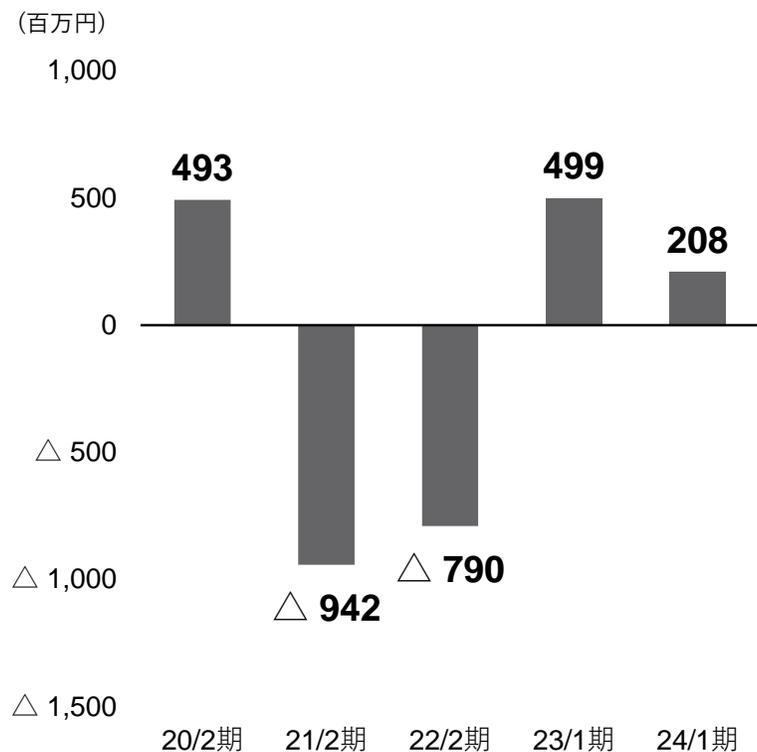


【売上高】 2020年2月期（コロナ前）を超え過去最高水準へ
【営業利益】 通期計画に迫る進捗

売上高 (第2四半期)



営業利益 (第2四半期)



営業利益の推移

20/2期に過去最高売上、過去最高利益を達成するも、コロナ禍2期は大きく業績を落とす。

23/1期に入り、コロナ第7波及び第8波の影響を受けながらも、積極的な営業を展開。また、米国助成金「RRF」効果が大きい。

24/1期第2四半期は、市況の回復や収益向上施策の効果により、「アウトドア」「ダイニング」「インターナショナル」を中心に好調に推移。

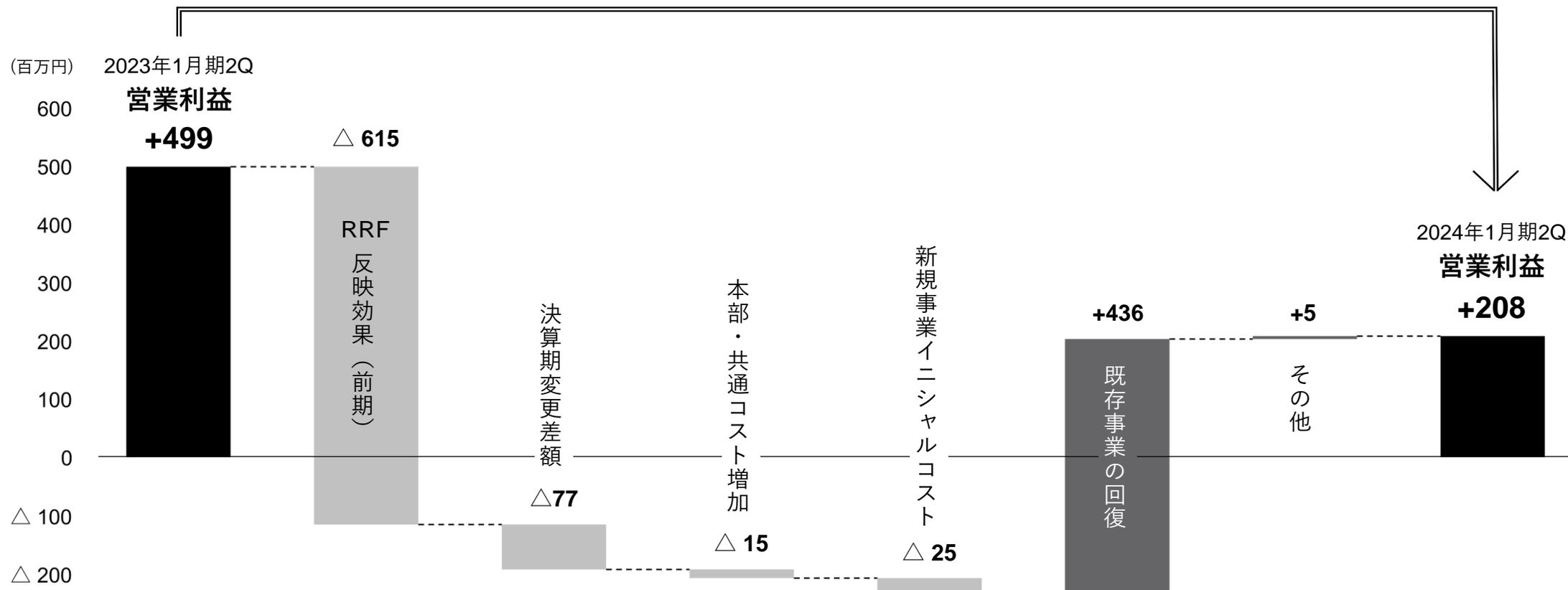
※ 2023年1月期より決算期を2月末日から1月31日に変更しております。

営業利益の増減分析



【前期】 既存事業の回復基調に加え、米国助成金「RRF」効果が大きく影響

【当期】 全事業が回復、更なる成長路線へ移行



※ 2023年1月期より決算期を2月末日から1月31日に変更しております。

連結業績推移（經常利益・当期純利益）

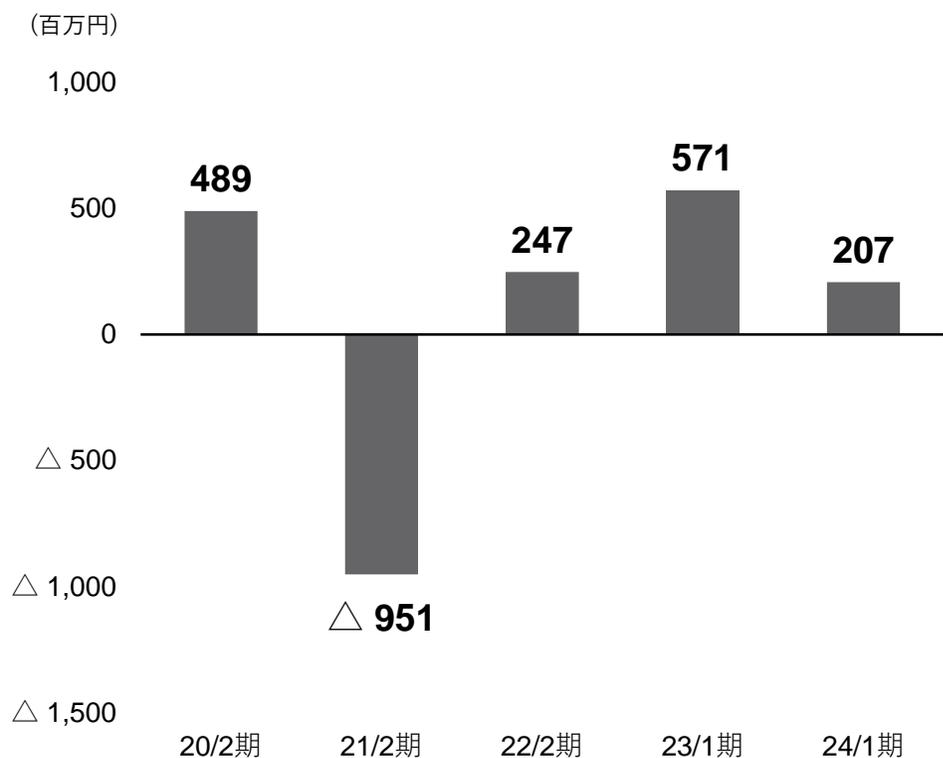


【經常利益】

23/1期：国内協力金74百万円計上

經常利益

(第2四半期)

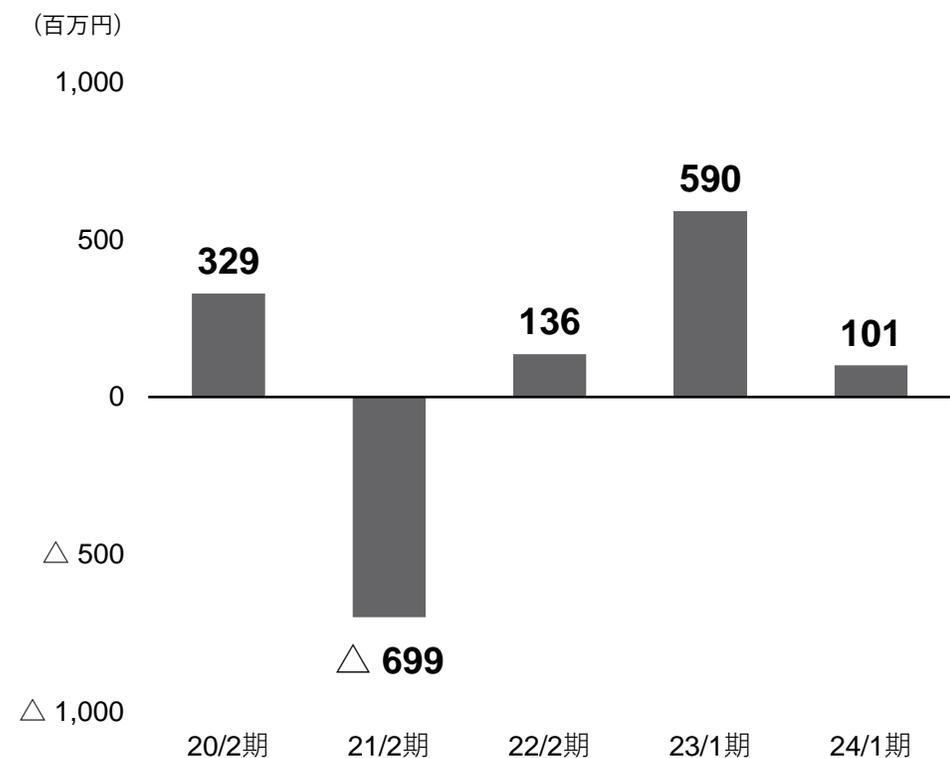


【当期純利益】

減損損失17百万円（撤退店舗）

当期純利益

(第2四半期)



※ 2023年1月期より決算期を2月末日から1月31日に変更しております。

連結貸借対照表



| (単位：百万円) | 2023年1月期末 | | 2024年1月期2Q末 | | 増減額 | トピックス |
|-----------------|--------------|---------------|--------------|---------------|-------------|---------------|
| | 実績 | 構成比 | 実績 | 構成比 | | |
| 流動資産 | 2,367 | 35.1% | 2,836 | 39.0% | +468 | 業績連動 |
| 固定資産 | 4,370 | 64.9% | 4,433 | 61.0% | +63 | |
| 有形固定資産 | 3,144 | 46.7% | 3,303 | 45.4% | +158 | 山下公園開業に伴う設備投資 |
| 無形固定資産 | 41 | 0.6% | 33 | 0.5% | △7 | |
| 投資その他の資産 | 1,184 | 17.6% | 1,097 | 15.1% | △87 | 繰延税金資産変動 |
| 資産合計 | 6,737 | 100.0% | 7,270 | 100.0% | +532 | |
| 流動負債 | 1,772 | 26.3% | 2,091 | 28.8% | +318 | 業績連動 |
| 固定負債 | 2,198 | 32.6% | 2,173 | 29.9% | △24 | |
| 負債合計 | 3,971 | 58.9% | 4,265 | 58.7% | +294 | |
| 株主資本 | 2,545 | 37.8% | 2,646 | 36.4% | +101 | |
| 資本金 | 90 | 1.3% | 90 | 1.2% | — | |
| 資本剰余金 | 1,506 | 22.4% | 1,506 | 20.7% | — | |
| 利益剰余金 | 948 | 14.1% | 1,050 | 14.4% | +101 | 業績連動 |
| 自己株式 | △0 | 0.0% | △0 | 0.0% | +0 | |
| その他包括利益 | 220 | 3.3% | 358 | 4.9% | +137 | 為替変動 |
| 純資産合計 | 2,766 | 41.1% | 3,004 | 41.3% | +238 | |
| 負債・純資産合計 | 6,737 | 100.0% | 7,270 | 100.0% | +532 | |

※ 2023年1月期より決算期を2月末日から1月31日に変更しております。

連結キャッシュ・フロー計算書



| (単位：百万円) | 2023年1月期 2Q | 2024年1月期 2Q | 増減額 | トピックス |
|-----------------------------|----------------|----------------|--------------|------------------|
| 営業活動によるCF | 576 | 250 | △ 325 | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 571 | 186 | △ 385 | |
| 減価償却費 | 119 | 141 | +22 | |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △ 315 | △ 413 | △ 97 | |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 244 | 204 | △ 40 | |
| 助成金の受取額 | 297 | — | △ 297 | 休業協力金 (前期) 差額 |
| 法人税等の支払額 | △ 77 | △ 4 | +72 | |
| その他 | △ 264 | 136 | +400 | |
| 投資活動によるCF | △ 569 | △ 223 | + 346 | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 523 | △ 254 | +268 | 前期：徳川園 / 当期：山下公園 |
| その他 | △ 46 | 31 | +77 | |
| 財務活動によるCF | △ 245 | △ 50 | + 195 | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △ 35 | △ 50 | △ 14 | |
| 長期借入れによる収入 | 200 | 200 | — | |
| 長期借入金の返済による支出 | △ 410 | △ 200 | +210 | |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 171 | 93 | △ 77 | |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △ 67 | 70 | + 137 | |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,313 | 1,794 | △ 519 | |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,246 | 1,864 | △ 381 | |

※ 2023年1月期より決算期を2月末日から1月31日に変更しております。

事業別売上高・営業利益の状況



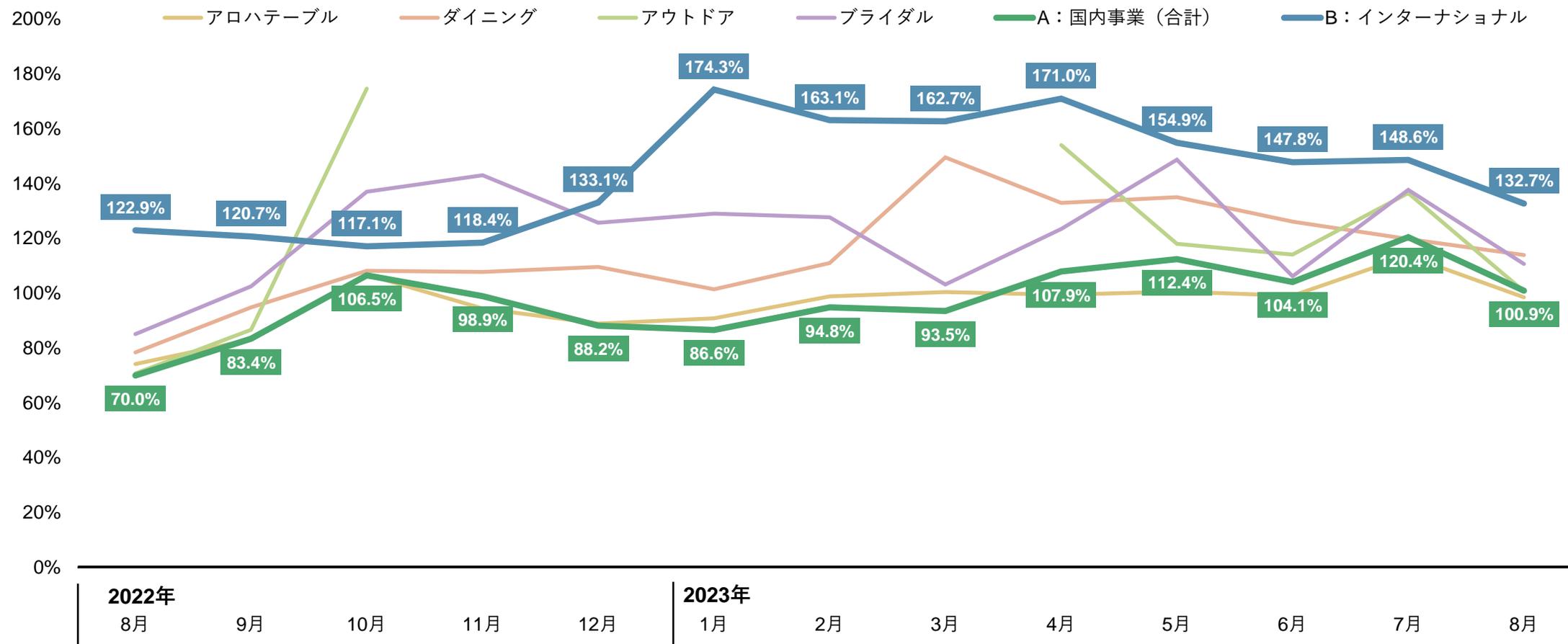
| | 2023年1月期2Q 実績 | 2024年1月期2Q 実績 | 増減額 |
|-----------------|------------------|------------------|---------------|
| (単位：百万円) | | | |
| 連結売上高 | 4,687 | 6,210 | +1,523 |
| ■ A：国内商業タウン再生事業 | 3,157 | 3,784 | +626 |
| ■ B：海外商業タウン再生事業 | 852 | 1,510 | +657 |
| ■ C：公園再生事業 | 619 | 932 | +313 |
| ■ その他（撤退含む） | 57 | △ 16 | △ 74 |
| 連結営業利益 | 499 | 208 | △ 290 |
| ■ A：国内商業タウン再生事業 | 295 | 524 | +229 |
| ■ B：海外商業タウン再生事業 | 27 | 132 | +105 |
| ■ C：公園再生事業 | 70 | 122 | +52 |
| ■ その他（本部・共通） | 106 | △ 570 | △ 677 |

※ 2023年1月期より決算期を2月末日から1月31日に変更しております。

売上業績推移（コンテンツ別比較 ※2020年2月期比較）



【国内】 コロナ5類移行後、高水準で進捗
 【海外】 前期より継続的に好調



事業別新店・退店



2024年1月期末

国内：65店舗

ZETTON,INC.：9店舗

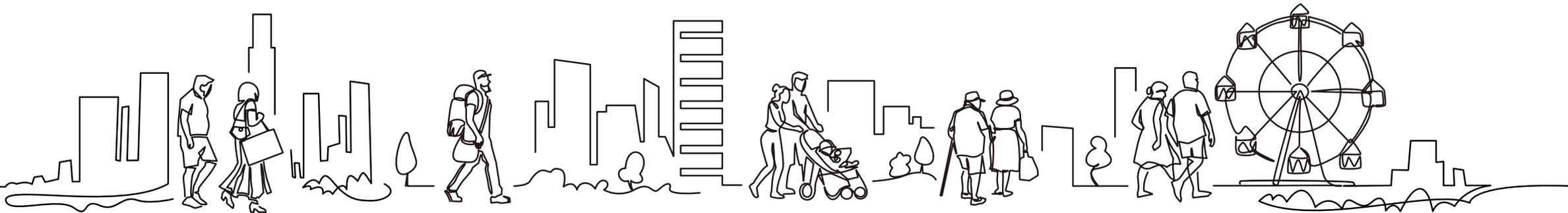
FC：2店舗

| | 2023年1月期 | | | 2024年1月期 2Q進捗 | | | 2024年1月期 見込 | | |
|-----------------|----------|----|-----|---------------|----|-----|-------------|----|-----|
| | 出店 | 退店 | 店舗数 | 出店 | 退店 | 店舗数 | 出店 | 退店 | 店舗数 |
| 合計 | | | 71店 | | | 74店 | | | 76店 |
| ■ A：国内商業タウン再生事業 | 1店 | 5店 | 54店 | 3店 | 1店 | 56店 | 5店 | 5店 | 54店 |
| ■ B：海外商業タウン再生事業 | 2店 | 1店 | 10店 | | | 10店 | 1店 | | 11店 |
| ■ C：公園再生事業 | 1店 | | 7店 | 1店 | | 8店 | 4店 | | 11店 |

2024年1月期第2四半期

セグメント概況

A: 国内商業タウン再生事業



A: 国内商業タウン再生事業 事業概況



事業Total 119.9%で着地（前期比）

【アウトドア】

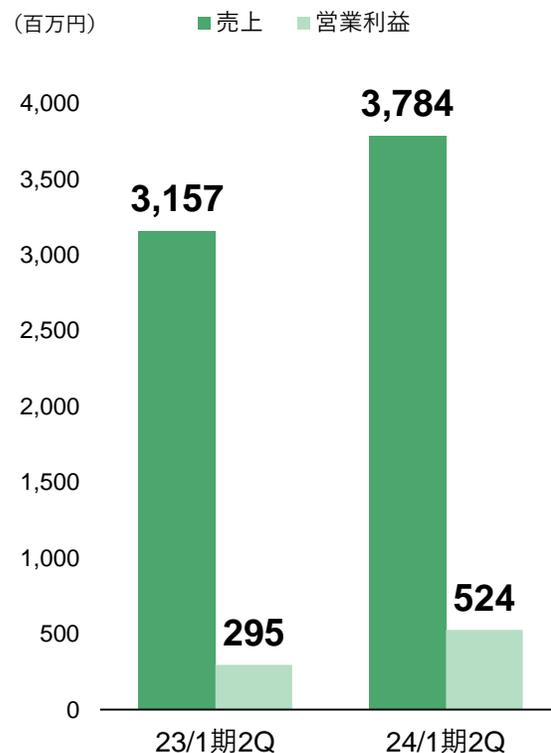
- 団体利用が増加。
- 雨天対応設備の増設、オペレーション及びプライシングの見直しを図り、積極的な営業を実施。

【ダイニング】

- 人流が回復したエリアに経営資源を集中。お客様層の変化、お客様単価の上昇など業績向上に寄与。

【アロハテーブル】

- 総合的なブラッシュアップを継続中。
- モバイルオーダーの他、オペレーションの見直しを実施。



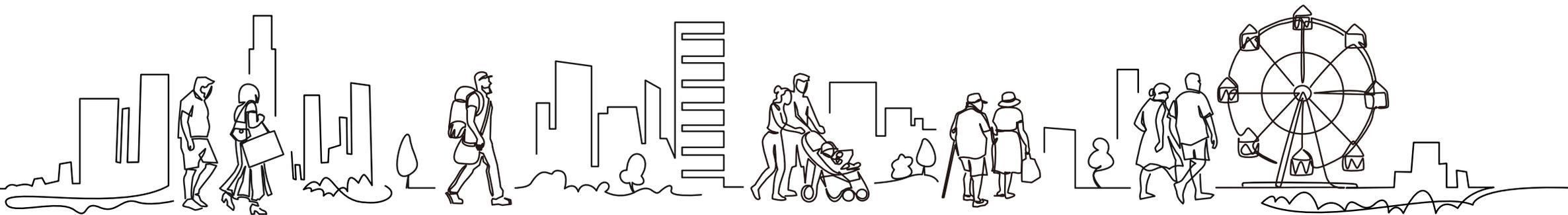
※ 2023年1月期より決算期を2月末日から1月31日に変更しております。



2024年1月期第2四半期

セグメント概況

B: 海外商業タウン再生事業

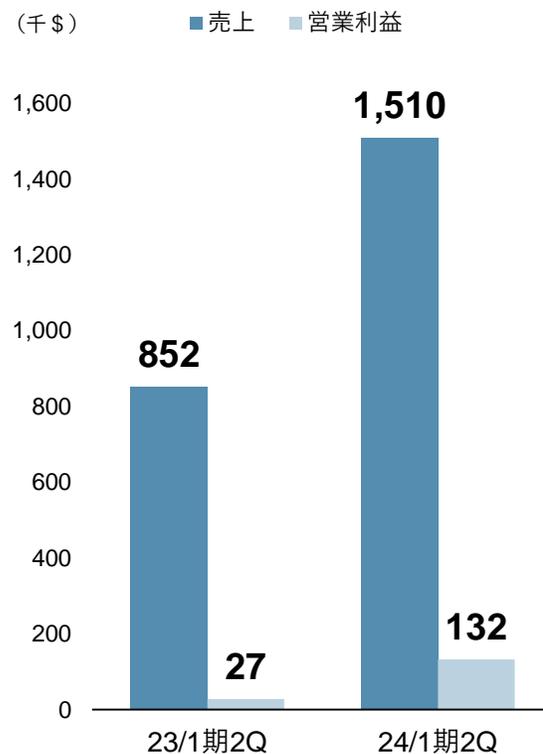


B: 海外商業タウン再生事業 事業概況



事業Total 177.1%で着地（前期比）

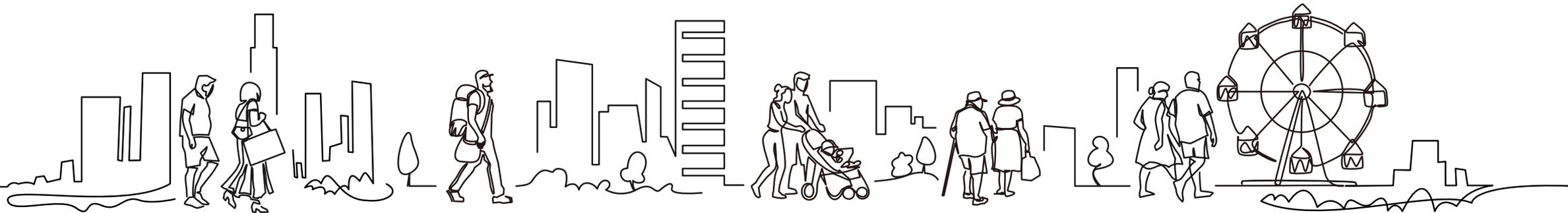
- ツーリスト増加に対応した営業体制の確立を行うことで、全店好調に推移。
- 新規店舗「Aloha Steak House」「CAMADO Ramen Tavern」「The Seaside -seafood・raw bar・wine-」が好調に推移
- 更なる新業態の開発と出店を実施。



2024年1月期第2四半期

セグメント概況

C: 公園再生事業

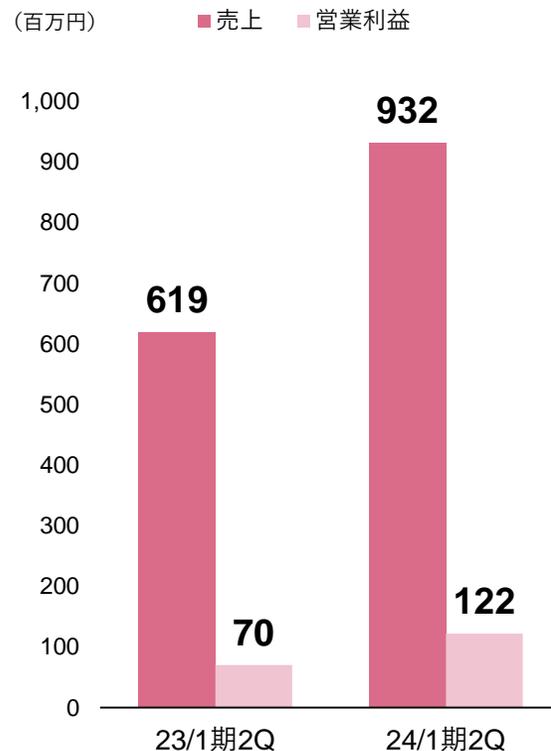


C: 公園再生事業 事業概況

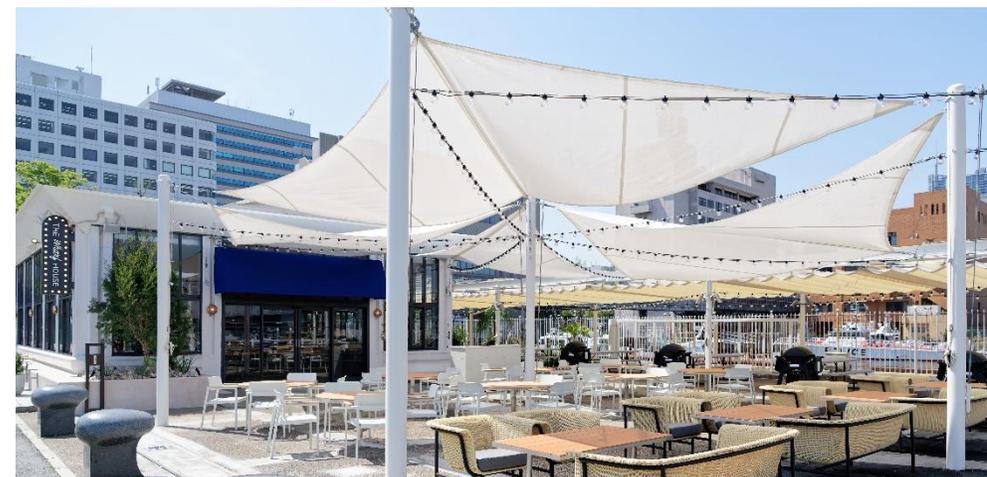


事業Total 150.7%で着地（前期比）

- 2023年4月「山下公園」再開発プロジェクトに代表企業として参画。「THE WHARF HOUSE 山下公園」を開業。
- 葛西臨海公園に続く公園再生事業のフラッグシップとして、新たな収益モデルへ挑戦。
- 「徳川園」2022年7月リニューアル以降、順調に推移。
- 更なる事業規模拡大に向け、新規案件を精査中。



※ 「中之島公園」「徳川園」「葛西臨海公園」「山下公園」を対象
※ 2023年1月期より決算期を2月末日から1月31日に変更しております。



「九州国立博物館レストラン・カフェ」 運營業務委託



福岡県立アジア文化交流センターによる企画提案の 公募において、運營業務委託事業者に決定

福岡が誇る文化観光スポット、太宰府市にある「九州国立博物館」。

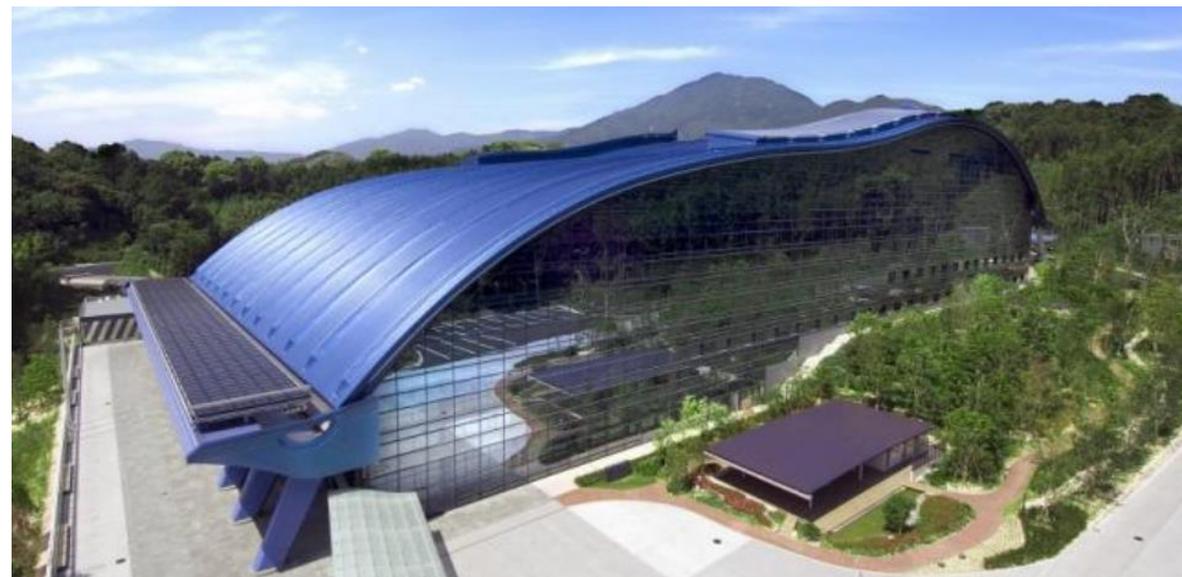
古来より交流の窓口であった九州の地に「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」という新しい視点を持ち、東京、京都、奈良に次ぐ全国で4番目に誕生した国立博物館。この博物館内にレストランエリアとカフェエリア、それぞれがご利用いただける上質な空間として開業いたします。

■ カフェコンセプト（23年10月開業予定）

福岡県の伝統ある小石原焼「飛び鉦」のコーヒーカップやお皿を使い、和モダンな雰囲気、丁寧に抽出したコーヒーをメインに福岡の八女茶やご当地ドリンクを提供します。オリジナルのシフォンケーキなどのスイーツもご用意。

■ レストランコンセプト（23年11月開業予定）

自然と文化に触れられる、大宰府の魅力を楽しめる和食レストラン。九州和牛のすき焼きや、鰻の石焼ひつまぶしを楽しめる少し贅沢なレストラン。



2024年1月期 通期計画



下期以降の市場環境及び出退店戦略を精査中の為、現時点では期初通期計画を据え置き

| | 2023年1月期 実績 | 2024年1月期 計画 | 2024年1月期 2Q進捗 | 進捗率 |
|----------|----------------|----------------|------------------|------|
| (単位：百万円) | | | | |
| 売上高 | 9,053 | 11,500 | 6,210 | 54% |
| 営業利益 | 372 | 200 | 208 | 104% |
| 経常利益 | 452 | 185 | 207 | 112% |
| 当期利益 | 486 | 135 | 101 | 75% |

通期計画について

【国内商業タウン再生事業】

- ・新規事業エリア開拓
- ・アロハテーブル再構築
- ・事業コンテンツ強化及び拡充

【海外商業タウン再生事業】

- ・ハワイエリアの新規事業開業

【公園再生事業】

- ・新規案件開拓
- ・山下公園開業
- ・既存事業の更なる拡張性実現